

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2007-276483(P2007-276483A)

【公開日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2007-101927(P2007-101927)

【国際特許分類】

B 3 2 B 5/24 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/24 1 0 1

A 4 1 B 13/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの基材ウェブに積層された弾性フィルムを含む積層体であって、該弾性フィルムは、天然ゴムまたは合成ゴムの弾性コアおよび該弾性コアの両側に配置された少なくとも1つのポリオレフィンスキン層を有する共押出し成型フィルムを備え、該弾性フィルムは、該フィルムの回復力を減らして該スキン層を永続的に変形させるように引き伸ばされて緩和されており、そして該フィルムに張力がかけられている間に、該少なくとも1つの基材ウェブに積層される前に少なくとももう1回引き伸ばされており、そして該弾性フィルムが、引き伸ばし後であるが積層前に穿孔されている、積層体。

【請求項2】

前記少なくとも1つの基材ウェブが、不織ウェブを含む、請求項1に記載の積層体。

【請求項3】

積層体を含む物品であって、該積層体は、少なくとも1つの基材ウェブに積層された弾性フィルムを含み、該弾性フィルムは、天然ゴムまたは合成ゴムの弾性コアおよび該弾性コアの両側に配置された少なくとも1つのポリオレフィンスキン層を有する共押出し成型フィルムを備え、該弾性フィルムは、該フィルムの回復力を減らして該スキン層を変形させるように引き伸ばされて緩和されており、そして該フィルムに張力がかけられている間に、該少なくとも1つの基材ウェブに積層される前に少なくとももう1回引き伸ばされており、そして該弾性フィルムが、引き伸ばし後であるが積層前に穿孔されている、物品。

【請求項4】

前記積層体が、

(a) 弾性フィルムを提供する工程であって、該弾性フィルムが、弾性コア層および少なくとも1つの弾性が低いスキン層を有する、工程；

(b) 該フィルムを少なくとも1方向に引き伸ばして、該弾性が低いスキン層を変形させる工程；

(c) 該フィルムを緩和させる工程；

(d) 該フィルムを少なくとももう1回、少なくとも該1方向に引き伸ばす工程；

(e) 該フィルムを引き伸ばしながら該フィルムを少なくとも 1 つの基材ウェブに積層して積層体を形成する工程；および

(f) 該積層体を緩和させる工程

を含むプロセスによって調製され、該弹性フィルムが、工程 (b) の後であるが工程 (e) の前に穿孔される、請求項 3 に記載の物品。

【請求項 5】

前記フィルムが、工程 (b) においての引き伸ばし以下の程度まで、工程 (d) において引き伸ばされる、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 6】

前記フィルムが、工程 (c) の後であるが工程 (d) の前に穿孔される、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 7】

前記穿孔する工程が、スリット形成、ホットニードル穿孔、ダイカッティング、スコアリング、シャーリング、高圧水ジェットおよびこれらの組み合わせから選択される、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 8】

前記フィルムが緩和された状態にあるときに穿孔される、請求項 4 に記載の物品。